

科目名	空港実務 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	空港地上支援業務従事者としての基礎知識の習得。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空用語を理解し、業界人としての会話ができる。	
	○	○				ITV・CPMを見て、到着の情報を把握し、機材等の準備ができる。	
	○	○				LIを見て、出発情報を把握し、必要な搭載方法を判断できる。	
	○					重量管理を理解し、搭降載作業での安全作業を説明することができる。	
○					BULK機材の作業を理解し、作業の手順を説明することができる。		
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」 日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の振り返りと貨物室(CARGO COMPARTMENT)					
	2	整備業務(Marshalling/Towing/Wing Watch作業)					
	3	整備業務(Marshalling/Towing/Wing Watch作業)					
	4	整備業務(Marshalling/Towing/Wing Watch作業)					
	5	グランドハンドリングの概要(航空用語ITV)				ITVの用語の復習を行う(0.5時間)	
	6	グランドハンドリングの概要(航空用語ITV)					
	7	グランドハンドリングの概要(航空用語LI&CPM)				LI・CPMの用語の副賞を行う(0.5時間)	
	8	グランドハンドリングの概要(航空用語LI&CPM)				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	9	理解度テスト					
	10	Weight & Balance(重量)				各重量について復習を行う(0.5時間)	
	11	Weight & Balance(安定飛行)				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	12	Weight & Balance(プランの方法・優先)					
	13	搭載・取り卸し作業					
	14	搭載・取り卸し作業					
15	理解度テスト						
評価方法	(1)定期試験の実施 (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)授業中での口頭質問 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	理解度テスト(筆記/2回)	◎	○				20%
	授業中の質問	◎			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	航空品質管理 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	空港地支援業務従事者として、安全運航に関する意識・感性・手法を学びイレギュラー回避能力を向上させる。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空業界での「安全」の考え方を理解し、安全に関しての重要性を説明することができる。	
	○					事故のメカニズムと要因、また事故防止の概念を理解し、説明することができるようになる。	
		○		○		危険予知トレーニングの必要性と手法を理解し、4RD分析が実施できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	安全管理一般				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	2	安全管理一般				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	3	安全管理一般				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	4	機体付近の安全・高所作業の安全・消火器				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	5	機体付近の安全・高所作業の安全・消火器				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	6	KYT(危険予知トレーニング)					
	7	KYT(危険予知トレーニング)					
	8	授業全体の振り返り 理解度テスト					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験の実施 (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)グループワーク 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎					70%
	理解度テスト(筆記/1回)	◎	○				10%
	グループワーク(2回)	○	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	TOEIC350~400に必要な英語の基礎を学ぶ。基本的な文法の知識の確認を行うと共に、比較的簡単な長文の読解を目指す。音読練習も加えたリスニング練習を反復的に行うことで、資格試験のみならず、日常会話に必要な力も伸ばしていく。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					下記に記した文法事項について説明ができる。	
	○					簡単な長文を読んで概要を掴むことができる。	
	○					比較的短い対話文やアナウンスを聞いて概要を掴むことができる。	
	○					比較的簡単なビジネス向けの単語を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	新TOEICメガ模試、TOEIC TEST新形式精選模試リーディング・リスニング						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業の説明・単語解説			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	2	リスニング(Part1 人物動作)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	3	リーディング(Part5 時制)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	4	リーディング(Part5 品詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	5	リスニング(Part2 疑問文)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	6	リーディング(Part5 代名詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	7	リスニング(Part3 ビジネス会話)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	8	リスニング(Part4 アナウンス)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	9	TOEIC模試① リーディング100問			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	10	TOEIC模試① リスニング100問			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	11	TOEIC模試② リーディング100問			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	12	TOEIC模試② リスニング100問			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)		
	13	リスニングまとめ			復習テストに向け復習(1時間)		
	14	リーディングまとめ			復習テストに向け復習(1時間)		
15	復習テスト			正試験に向け復習(1時間)			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3)小テスト(単語テスト等)を実施以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト等	◎	○		○		10%
履修上の注意	電子辞書の持参。						

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口・宮崎・市原・合力		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	全学科(パティシエ、国際ホテル除く)						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる。	
	○					方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる。	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる。	
	○					日本をはじめとした主要国の地理や政治における基礎的な内容を理解し説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント:「専門学校生のための一般常識トレーニング」 一ツ橋出版 第4版 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス説明、ニュース				次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)	
	2	ROUND11: 漢字の知識、国際組織、英単語の知識				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	ROUND12: 英文和訳、国税・地方税、漢字の知識、歴史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	ROUND13: 四字熟語、社会保障制度、各国の貿易 ROUND14: 方程式、各国の歴史、英語(単・熟語の知識)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	ROUND14: 社会(政治・経済) ROUND15: 漢字の知識、英語(単・熟語の知識、並べ替え)、国会について				次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)	
	6	ROUND11~15 確認テスト				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	ROUND16: 漢字の知識、歴史、図形の面積・体積				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	ROUND17: 日本語・英語のことわざ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	9	ROUND17: 歴史、英文和訳、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	ROUND18: 経済、名数、短歌・俳句				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	11	ROUND19: 漢字の知識、英単語の知識、人口の推移				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	12	ROUND20: 漢字の知識、英文補充、歴史				次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)	
	13	ROUND16~20 確認テスト				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	14	ROUND11~20 総まとめ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
15	試験対策				試験範囲の部分の復習(1.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト (3)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
出席状況				○		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	SPI I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	航空会社の採用試験に導入されているSPI試験の対策授業。制限時間内での正確な解答を目指し、解法を理解し問題に解答できる基礎力を養成する。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					非言語分野問題の解法を理解し、式を立て、解答を導くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明、演習問題				該当箇所の復習(0.5時間)	
	2	速度算、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	3	速度算、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	4	速度算、仕事算、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	5	速度算、仕事算、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	6	仕事算、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	7	仕事算、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	8	損益算、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	9	損益算、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	10	損益算、四則演算③				該当箇所の復習(0.5時間)	
	11	N進法、集合、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	12	N進法、集合、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	13	命題、推論、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	14	命題、推論、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
15	SPI I の総まとめ				該当箇所の復習(0.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト (3)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	業界の現状や動向を理解し、就職活動に向けての準備を行う。社会人基礎力を身に付け、企業の採用試験に向けて履歴書・エントリーシート・面接の準備を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			社会人としての身嗜みやマナーを理解し、身に付ける。	
		○				業界の職種への理解を深め、将来の自分自身の姿をイメージできる。	
	○					自己分析の結果を言葉で表現できる。	
	○					人前で自己を表現することができる。	
			○			社会人としての意識をもって採用試験対策の面接練習に取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック、求職票、履歴書、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職活動概要・シラバス説明、職業観調査				目標を考える(0.5時間)	
	2	目標設定				求職票の内容を考える(0.5時間)	
	3	求職票準備				求職票の内容を考える(0.5時間)	
	4	求職票準備				下書き準備(0.5時間)	
	5	求職票準備				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	6	求職票受付面接の練習				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	7	求職票受付面接の練習				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	8	求職票受付面接の練習				履歴書・エントリーシートの内容を考える、作成(0.5時間)	
	9	履歴書・エントリーシートの準備				履歴書・エントリーシートの内容を考える、作成(0.5時間)	
	10	履歴書・エントリーシートの準備				履歴書・エントリーシートの内容を考える、作成(0.5時間)	
	11	履歴書・エントリーシートの準備				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	12	企業採用試験(面接)練習				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	13	企業採用試験(面接)練習				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	14	企業採用試験(面接)練習				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
15	企業採用試験(面接)練習				面接の受け答えの準備(0.5時間)		
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)期限内提出物 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	期限内提出物	◎			○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、不合格「D」評価とする。						

科目名	Excel						
科目名(英)	Excel						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	講師未定		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	Excel2016を使用し、表計算処理能力を身に付け、美辞根雨sの現場で必要とされるレポートや報告書の作成活用能力の向上を図ることを目的として実施する。また、表計算処理の基礎的な技能を有していることを確認するためExcel表計算処理技能認定試験3級の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			Excelで表計算ができる。	
			○			Excelでグラフの作成と編集ができる。	
			○			Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われている正しい用語の説明ができる。	
		○				Excel表計算処理技能認定試験3級に合格する。	
テキスト・教材 参考図書	「30時間でマスターExcel2016(Windows10対応)」実教出版 「Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(2016対応)」サーティファイ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Excelの概要、データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成			テキスト記載の実習問題1~4の表作成を完成させる(0.5時間)		
	3	表の編集(表の構成、書式設定、罫線)			テキスト記載の実習問題7~10のを完成させる(0.5時間)		
	4	セルの書式設定、絶対参照を使う計算・関数(Σから選べる関数)			テキスト記載の実習問題11~15を完成させる(0.5時間)		
	5	いろいろな関数(COUNTA、ROUND類、RANK類、IF)			テキスト記載の実習問題16~18、37を完成させる(0.5時間)		
	6	スパークライン・グラフ機能			テキスト記載の実習問題20~26を完成させる(0.5時間)		
	7	データベース機能			テキスト記載の実習問題34、35を完成させる(0.5時間)		
	8	中間テスト					
	9	検定対策(練習問題1) 解説・実習					
	10	検定対策(練習問題2) 解説・実習					
	11	検定対策(練習問題3) 解説・実習					
	12	試験プログラムの使用方法・検定対策(模擬問題1) 各自演習・質疑応答					
	13	模擬試験1回目					
	14	検定対策(模擬問題2) 解説・実習					
15	期末試験実施						
評価方法	(1)検定試験と同程度の実技期末試験(2)中間テストを行う(3)授業の中で検定対策として模擬試験を実施する(4)授業内で行う実習問題を仕上げ、毎回授業の最後に課題として提出する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実施		○	◎			50%
	中間テスト		○	◎			20%
	模擬試験		○	◎			20%
課題提出		○		◎		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する。						

科目名	企業インターンシップ						
科目名(英)							
単位数	8単位	時間数	320時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	実際に空港に於いてグランドハンドリング業務を体験し、専門知識や技能を身に付け、社会人としての意識の定着を図る。						
授業形式	講義:	△	演習:		実習:	○	
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			職場における敬語表現を身に付け、実際に使うことができる。	
			○			業界用語を学び、それを使ってコミュニケーションをとることができる。	
			○			就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
			○			個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
		○			自ら仕事を見つけ、率先して行動することができる。		
テキスト・教材 参考図書	関連資料プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	実習前準備 自己紹介シートの作成					
	2	実習前研修①身嗜みや心構え				プリントを事前に読んでおく(0.5時間)	
	3	実習前研修②業界用語の確認				プリントを事前に読んでおく(0.5時間)	
	4	実習前研修③挨拶、緊急時の連絡方法				プリントを事前に読んでおく(0.5時間)	
	5	各企業でのインターンシップ					
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)事前研修時に2レター、3レター、業界用語の確認テストを実施 (2)報告書 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト(筆記)	○	◎				50%
	報告書の提出	○			◎		50%
履修上の注意	事前研修時に実施する確認テストで9割以上正解出来ない場合、インターンシップに参加できない可能性がある。						